16:神になった?東アジアの英雄達

シティカレッジ:広島市、(財)広島市未来都市創造財団と教育ネットワーク中国との連携講座。

受付は、広島大学と(財)広島市未来都市創造財団で行います。

- ■広島大学 … 4/1(水) から先着順(30名)
- ■(財)広島市未来都市創造財団 … 10/1(木) から先着順(30名)

概 要

日本を含め、一神教の要素が他地域に比べて弱い東アジアでは、古い時代から現代に 至るまで、多くの歴史上の英雄が「神」として国家に認定されたり、民衆信仰の対象となったり しました。そして一見「時代遅れ」とされるそうした動きは、今の日本を見れば一目瞭然です が、姿かたちを変えて現在にまで至っています。そうした中国、台湾、ベトナムの「神になった?」 とも評される英雄達の実像と信仰の現在についてお話しし、同時にそうした英雄の神格化を 希求する国家や一般民の意識にまで迫っていきたいと思います。

会 場

広島市まちづくり市民交流プラザ (広島市)

孫文と蒋介石:絶対的権威の追求

三国志演義の英雄・関羽と台湾を拓いた鄭成功

時間

13時30分 ~ 15時00分、15時15分 ~ 16時45分

定員/対象

60名 / どなたでも

1回 (土)

小説・三国志演義で大活躍する勇将・関羽は実在の人物です。死後、歴代王朝で祀られた結果、清朝時代には帝号を称するに至り、武神の最高位へとのぼりつめました。また現在、台湾において篤い信仰を集める鄭成功は、清朝に抵抗して台湾へと移り、台湾開発の基礎を築いた人物として注目されています。こうした英雄たちがどのようにして神となるのか、関羽と鄭成功を事例にお話ししたいと思います。

2回 11/14 (土)

「革命未だ成らず」という名句を残した孫文は中国・台湾で(そして日本でも)とても人気があります。それに対し、孫文の後継者として中国統一を進めた蒋介石はそれほど人気がありません。ともに中国革命を指導するために絶対的な権威を追い求めた2人ですが、この違いは何に起因するのでしょうか。この講座では、そんなところから説き起こし、2人の実像に迫ってみたいと思います。

ベトナム中世、現代の生ける神ーチャン・フン・ダオ とホー・チ・ミン

文学研究科 教 授 八尾 隆生

文学研究科 准教授 太田 出

文学研究科 教 授 金子 肇

3回 (土)

ベトナムでは「常に外からの侵略と戦い勝利して国を維持してきたのがベトナムの歴史」という歴史観が今でも主流を占めています。そして祖国防衛の英雄達は神として国家や一般民衆に尊崇されています。本回では日本史の元寇とも関連のあるチャン・フン・ダオ(陳興道)将軍と、現政権の基であるベトナム民主共和国の設立者で、熱烈なマルクス主義者であったはずのホー・チ・ミンを取り上げ、過去から現代に至るまでのベトナムの「神信仰」を考えてゆきたいと思います。

講座内容に関する問合せ

文学部

電話:082-424-6616

メール: bun-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp